Nissenken

JIS L 1921

▶ バイオケミカルグループ 試験ファイル

JIS L 1921 -繊維製品の抗かび性試験方法及び抗かび効果- とは

かびは生活環境のあらゆる場所に存在し、アレルギーなどの健康面だけでなく、悪臭の発生や素材の変色、脆化につながることもあります。身近な製品に抗かび加工をすることで、製品上のかびの増殖を抑え、より衛生的な生活空間を提供することができます。これらの抗かび加工を施した繊維製品の抗かび効果を評価する方法が JIS L 1921 です。

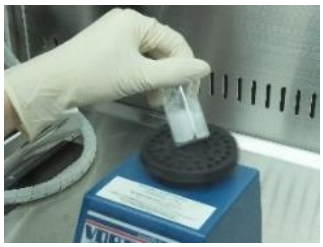
- 適用範囲

  糸、織編物、不織布、衣類、寝具、家具、雑貨などの繊維製品が対象です。
  （プラスチックや金属などは対象外のため、JIS Z 2911 でかび抵抗性の評価をします。
  また、繊維製品でもかび抵抗性を評価するものは JIS Z 2911 で試験します。）

- 試験概要

  抗かび加工した試験試料と比較する対照試料（綿標準布）に胞子懸濁液を接種し、一定時間培養します。培養後、試料上の生きたカビの ATP 量*を測定します。試験試料と対照試料の ATP 量を比較することにより、どの程度かびの増殖を抑制したかを抗かび活性値[Aa]として算出します。

  *ATP とは生物が持つエネルギー物質



- 抗かび効果

  Aa≧2.0

SEK マーク

SEK マークとは、機能性繊維を対象にした製品認証マークのことで、（一社）繊維評価技術協議会が認証をおこなっています。加工剤の安全性・製品の安全性、機能性等すべての基準をクリアして認証されます。ニッセンケンは指定試験機関として、抗かびマークの申請に必要な機能性評価を行っています。

詳細は・・・

▸本規格に関するより詳細な資料（PDF ファイル／15 ページ）は、こちらからダウンロードできます。

▸バイオケミカルグループ 特設サイトでは様々な情報を発信しています。ぜひご覧ください。

© 一般財団法人ニッセンケン品質評価センター

ライフ アンド ヘルス事業本部　バイオケミカルグループ
biochemical@nissenken.or.jp　03-5875-7271